

「伝え合う力 ～相手の気持ちを受けとめる～」

校長 根本愛子

人に何かを説明するということはとても難しいものです。特に、相手が知らないことを説明する時には、「説明力」が求められます。その際に大切なのは、相手の気持ちを受け止めることではないでしょうか。例えば、「薄くて軽い時計が欲しい」という人に対して、A:「厚さ5ミリ、重さ30グラムです」B:「薄さ5ミリ、重さ30グラムです」C:「薄さ5ミリ、わずか30グラムの軽さです」という3つの説明をされたらどうでしょうか。内容はどれも同じですが、最も相手の気持ちをくみ取った、わかりやすい答えは、Cでしょう。このように相手の立場に立って言葉を選ぶことが伝えるうえでとても重要です。

さて、子供に「勉強したくない」と言われた時になんと答えるでしょうか。「どうして?では、せっかく自分の気持ちを伝えようとしているのに否定されたと感じ、人間関係が切れてしまう。子供は、勉強する良さを知りたいのだ。」と小児科医から伺ったことがあります。「そうか、勉強したくないんだね」と、相手の気持ちに共感することから始め、「勉強すると、こんなにいいことがある、こんなこともできるようになる」とその子が見えていない未来や可能性をイメージできるように伝え、広い意味の学びを意識させることが大切です。そうすれば、興味がわき、「続けるとこんなにいいことがあるんだ。やってみようかな。」と自ら挑戦するようになっていくはずです。

私たち大人には、子供たちが自分の夢や希望に向かっていくための力を育てていく責任があります。彼らは、伝え合う中で、新しい価値を見いだしていくことでしょう。今年の組織目標の中に「対話」というキーワードを入れました。どんな場面でも、対話を重ね、コミュニケーションを深めることは大切です。学校のすべての学びの場面で、一人一人が、相手の気持ちをしっかり受け止めながら、自分の考えも伝える・・・そんな「伝え合える人間関係」を育てていきたいと思えます。

今月の関中ワード

○一番強いのは、[続ける才能]

大きな夢を抱くのは素晴らしいことです。しかし、本当にそれを掴むには、諦めずに継続することが大切です。一歩ずつ、着実に、歩みを止めないことこそが、夢を実現する一番の原動力となります。